

田中晴子

信じる

喉が渴いたとき
差し出された水を
何の迷いもなく飲み干すように
差し伸べられた温かい手を
何のためらいもなく握り返したい

水の正体

清らかな水は からだを潤し
濁った水は からだを蝕む
その水の正体は
心と言葉のありよう